



ナレフ川



ポドラスキ地方の民家



POLISH
TOURISM
ORGANISATION



ポドラスキ地方



ヨーロッパ最大級の自然と 多様な文化に出会う ポーランド北東部ポドラスキ地方を訪ねる

ポーランド北東部のポドラスキ地方は、リトアニアやベラルーシと国境を接し、ヨーロッパ最大級の自然が今も息づいている。また、古くから貿易や文化交流の要衝として栄え、「異文化のクロスロード」として多様な民族や宗教が交わり、共生と寛容を育んできた。ここでは、自然に癒やされ、文化の多様性に触れる—そんな今の時代だからこそ求められる体験が待っている。

NATURE

世界遺産の原生林に今も暮らす ヨーロッパ・バイソン

ビャウオヴィエジャ国立公園

アクセス●ビャウストクからハイヌフカまで列車で55分～1時間20分。ハイヌフカからバスで約30分

広さは東京23区とはほぼ同じ。かつてヨーロッパの低地を広く覆っていた原生林の最後の姿を残すこの一帯は、ベラルーシ側と共に世界遺産に指定されている。広葉樹が生い茂る森には、かつて大陸各地に生息していたヨーロッパ・バイソン(ジュブル)が今も暮らし、その太古から変わらぬ姿に圧倒される。10月には黄葉に彩られた「ポーランドの黄金の秋」と呼ばれる美しい光景が広がる。



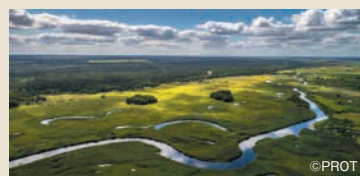
©Urząd Gminy Białowieża

日本でも有名なポーランドのウォッカ「ズブロッカ」はこの地に由来する。ボトルに入る香草は「バイソングラス」と呼ばれるビャウオヴィエジャ産の草で、ズブロッカ特有の芳醇で桜のような香りを放つ。

ヨーロッパ最大級の湿地帯は バードウォッチングの聖地

ビェブジャ国立公園

ビェブジャ川流域に広がるヨーロッパ最大級の湿地帯で、総面積5万9000ヘクタールを誇るポーランド最大の国立公園。ここでは275種の鳥類が確認され、カラフトワシやヨーロッパジギギなど絶滅危惧種を含むバードウォッチングの聖地として知られる。1995年にはラムサール条約湿地に登録された。



©PROT

川の流を感じながら カヌーやサイクリングを体験

ナレフ川溪谷

「ヨーロッパのアマゾン」とも呼ばれるビェブジャ国立公園と並ぶ生態系の宝庫で、ナレフ国立公園としてラムサール条約湿地に登録されている。ゆったりと流れる川に沿ってカヌーやサイクリングを楽しめ、四季の移ろいとともに姿を変える自然は訪れる人々を魅了する。



こんな
体験も

列車を豪華な客室に改造 ランチにも最適

Restauracja Carska i Apartamenty

ビャウオヴィエジャ国立公園の近く、ワルシャワから移住したミハウ・ドリンコフスキ氏が開いたレストラン兼宿泊施設。1903年に建てられた歴史的な駅舎や列車を買い取り、リノベーションしたもので、かつての豪華な列車旅の雰囲気を感じさせる客室が特徴。鹿のタルタルやピエログなど、美味しいポーランド料理も味わえる。 carska.pl





「北のヴェルサイユ」 プラニツキ宮殿

「北のヴェルサイユ」 ユネスコ無形文化遺産の「二重織り」も

ビャウイストク

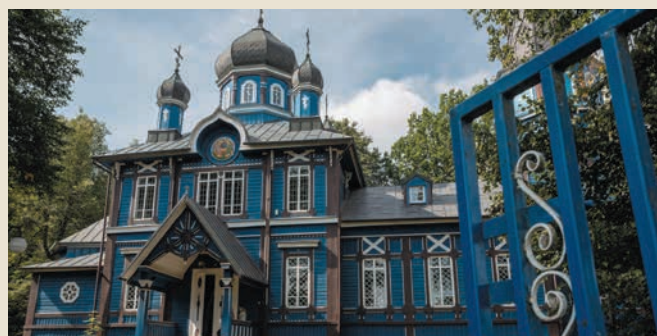
アクセス●ワルシャワから車で約3時間半～4時間（道路状況による）。列車では最短1時間半、平均で2時間前後

県庁所在地のビャウイストクには、バロック建築の傑作プラニツキ宮殿があり、「北のヴェルサイユ」と称される。また、ポドラスキ地方に伝わる独特の織物技術を用いた「二重織り」は、表と裏で異なる文様が浮かび上がるのが特徴。幾何学模様や植物、動物などが色鮮やかに織り込まれ、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている。各家庭や村に伝わる織物は、この地域の人々の暮らしと精神文化を今に伝える。



一点物の二重織りはお土産にもぴったり

一日で織るのは10センチが限界だという



多様な宗教が息づく地 金色の丸屋根がフォトジェニック

東方正教会

民族的にも、宗教的にも多様性が息づくポドラスキ地方。カトリック教会やユダヤ教のシナゴグに加え、ここでは東方正教会が多く点在。金色の丸屋根をいただく聖堂は風景に溶け込み、実にフォトジェニックだ。鐘の音と共に響く聖歌は、地域の精神文化を象徴する。

木造のモスクや 伝統的な料理を体験

タタール人の村を訪ねる

ビャウオヴィエジャ国立公園の北、ベラルーシとの国境に程近いクルシニャヌィ村やボフニキ村には、14世紀にこの地に移住したタタール人の末裔が今でも暮らしている。かわいらしい木造の建物は、彼らが信仰するイスラム教のモスクだ。

また伝統的なタタール料理を味わえるレストランもあり、香辛料の効いた肉料理「ピラウ」や小麦生地で包んだ「ピエルミエニ」、甘い「バクラワ」など、異文化の香りを体感できる。

何百年も前、ユーラシアの大草原を駆け抜けた勇敢なタタール人。彼らの文化に触れながら、歴史のロマンに思いを馳せてみるのも良いだろう。



木造のモスクは見学も可能



タタール料理に舌鼓

写真提供:ポーランド政府観光局